

高齢者健康追跡など 新年度53事業を提案

弘前市健康PT

弘前市は16日、健康施策に関する庁内の横断組織「ひろさき健幸いきいきプロジェクトチーム」の会議を開き、高齢者の健康追跡調査など、53事業を盛り込んだ2016年度の事業提案書をまとめた。18日、プロジェクトリーダーの蛭名正樹副市長が葛西憲之市長に提案書を提出する。

新規5事業のうち、健康追跡調査は65歳以上の市民が対象。国の事業の一環で、16年度から全国8大学が各地で1万人を対象に追跡調査する。弘前市では弘前大学と市が連携し、16年6月に千人程度の参加者を募集する予定。磁気共鳴画像装

置（MRI）による脳の診断をはじめ、認知機能、糖尿病、生活習慣などの調査を検討している。

同チームのオプザーバーの1人で、弘前大学院医学研究科社会医学講座の高橋一平准教授は「MRIによって、症状のない脳梗塞なども診断できる。協力をお願いしたい」と話した。

ほかに、①妊婦の無料歯科検診に関して、集団検診から個別検診へ移行②後期高齢者の歯科検診の無料化などが盛り込まれた。

（佐藤彩乃）